

# ふれあい

2020  
**103**号

令和2年 9月



「子ども会に入ろう！」のぼり旗を改めて作成しました。デザインは菅野松の木子ども会の井上みずえさんです。虹色は、雨上がりの空に虹が出現すると、ハッピーな気持ちにさせてくれるように、虹は子ども達より多くの幸運を願っています。又背景色は緑色にして、木や森などをイメージし、子ども達の成長を願いました。各地区にのぼり旗とポールをセットにして2セットを6月に配布しました。大いにご活用下さい。

現在の登録数  
単子数 63  
子ども 1,902人  
大人 1,598人

- |                      |   |                |   |
|----------------------|---|----------------|---|
| ・令和2年代議員総会……………      | 2 | ・育成功労者表彰……………  | 4 |
| ・令和2年度市川市子ども会新聞・壁新聞・ |   | ・青少年育成課紹介…………… | 4 |
| ポスターコンクール表彰……………     | 2 | ・七夕まつり……………    | 4 |
| ・新会長挨拶……………          | 3 |                |   |

# 令和2年度代議員総会

## 初の書面議決

今、世界中を騒がせている「新型コロナウイルス」。

子ども会にも大きな影響を与えています。

5月11日、勤労福祉センターで行なわれる予定だった代議員総会。公共施設利用自粛の中、総会議案を書面議決をもって議決とする方法がとられました。

各子ども会に送付された総会資料を基に、「議決権行使書」に承認又は不承認の○印をつけ返送。

後日集計の結果、81単子中56単子より返送され、55単子

が賛成無効1議案すべてが可決されました。

例年総会と同時に「育成成功労表彰」や「新聞・壁新聞・ポスターコンクール表彰」もなく、該当者には後日表彰状と記念品が贈られました。

今年役員改選の年でもあります。昨年

60周年記念事業を無事終え、勇退される石井克己会長に代わり、亀山達次副会長（中国分子ども会）が会

長に就任いたしました。

石井前会長は昭和60年、文化部副部長を皮切りに、今回勇退される迄、30有余年の長きにわたり市子育てを支えてくださいました。

又同じく退任された役員の田中真理子さん、高久美代子さん、理事の尾川健司さん、大林和彦さん、長い間大変お疲れ様でした。

## 理事紹介

役職	氏名	地区	所属団体
理事長	服部 英信	4	稲越
副理事長	柴野 敏行	13	第13地区育成会
副理事長	石川 潤	1	中国分
理事	羽田 勇	3	つくし
理事	藤本 恵子	5	白幡
理事	稲葉 健二	6	門前
理事	鈴木 健	7	第7地区育成会
理事	石井 孝幸	8	第8地区育成会
理事	五十嵐良彦	9	中山
理事	赤澤 秀樹	11	第11地区育成会
理事	横山 廣紀	12	第12地区育成会

●は新任理事

# 令和2年市川市子ども会新聞・壁新聞及びポスターコンクール



新聞 優秀賞 欠真間



壁新聞 優秀賞 新田くるみ



ポスター 優秀賞 白幡



壁新聞 優良賞 東菅野三丁目 さくら

	賞	子ども会名	児童名 (学年)
新聞	優秀賞	欠真間	
壁新聞	優秀賞 優良賞	新田くるみ 東菅野三丁目さくら	
ポスター	優秀賞 優良賞 佳作	白幡 本行徳四丁目 高石神	久保亜咲美(小3) 田所 毅樹(小6) 安山 凜花(小6)



# 新会長 挨拶

皆で協力して  
子ども会活動を活発に！  
亀山 達次



令和2年度は、コロナ騒ぎにより今までにない異常事態の中で始まり、育成会員の皆様もさぞ不自由な思いを強いられていることでしょう。

この様な中、本年度の役員総会は市子育連始まって以来の書面議決によるものとなりました。その中で、市子育連会長という重責を仰せつかりました第一地区中国分子ども会育成会の亀山でございます。

前石井会長に比べ、全ての面で力不足ではありますが、皆様の力を借り、期待に添えるよう、子どもたちの幸せのために邁進してまいります。育成会会員の皆様には、日頃より子どもたちのために子



ども会活動にお力添えを頂き誠にありがとうございます。皆様の協力が有り子ども会が成り立っている訳です。出来る限り皆様の声を取り入れ、より良い子ども会になるよう努力してまいりますので宜しくお願いいたします。

今年度におきましては、コロナ騒ぎにより子ども会活動が思うように出来ませんが、焦らずに再開できる時を待ちましょう。

さて、現在の子ども会会員及び子ども会は、年々減少傾向であり、子ども会の存続問題になりかねません。子ども会が発足した当時とは世の中の状況が大きく変わり、子どもたちだけでなく大人たちの価値観も変化しており、それ

を踏まえた上で、これが一番難しいのですが、魅力ある子ども会活動を皆で考えていく必要があるのではないのでしょうか。

単子子ども会の活動が活発になれば、自然と会員増へつなげていくでしょう。子ども会活動に携わっている人たちは、全員がボランティアであり、仕事を持っていく中で活動です。今後、役割分担を進めることにより個人の負担軽減を図って行く予定です。

役員・専門部員皆で協力して子ども会活動を行っていく所存ですので、地区役員、育成者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



## 新役員紹介

顧問	石井 克己	柏井連合
会長	● 亀山 達次	中国分
副会長	遠藤 淳子	柏井連合
副会長	● 増田 貞幸	北国分堀之内
副会長	● 遠藤 恵子	第12地区子ども会育成会
会計	堀口 晶子	高谷
総務部長	● 小野やよい	北国分堀之内
総務部長	若山久美子	若潮
広報部長	川上みつ子	高石神
管理部長	● 阿部とみ子	第12地区子ども会育成会
指導部長	● 浜野 智恵	根古屋
事業部長	遠藤 恵子	第12地区子ども会育成会
会計監査	伊藤 猛	新田1丁目くるみ
会計監査	● 及川 和弘	高谷

●は新任役員



ポスター 優良賞  
本行徳四丁目



ポスター 佳作 高石神



# 青少年育成課の紹介

- ① 出身地
- ② 趣味
- ③ 好きな言葉
- ④ 子ども会に思うこと

## 田中英一（青少年育成課長）

- ① 千葉県市川市
- ② 旅行
- ③ 笑う門には福来る
- ④ 子どもは地域の宝です。  
子ども会は、子どもたちの地域

活動の中心となるものと思っています。そのような子ども会を支える皆様、この場をお借りし感謝申し上げます。子どもたちの笑顔があふれるまちになるよう、業務に取り組んでまいります。

## 室岡 稔

- ① 千葉県市川市
- ② 愛犬との触れ合いで癒されること
- ③ 大好きな事に情熱の全てを注ぎなさい
- ④ 4月に青少年育成課に着任いたしました室岡と申します。まだまだ未熟ですが、皆様と連携

協力して子ども会の活動の支えとなるよう努めていきたいと考えています。よろしく願いいたします。子ども会活動が子どもにとっても、保護者にとっても、学びの場となるような多くの魅力ある活動をおし進めていただく事で、子ども会の更なる発展に繋がることを願っています。

## 長田憲明

- ① 千葉県鎌ケ谷市
- ② 読書（歴史物）
- ③ ありがとう（感謝の言葉）
- ④ 子ども会の活動を通して、子どもたちが多くの経験や思い出を得て成長していくことは、人の繋がりが薄

くなっている現代社会において、貴重な場であると思います。本来であれば、今年度も4月から多くの行事があり、7月には夏祭りを始め子どもたちが楽しむイベントがあったことと思いますが、新型コロナウイルスにより、ほとんどイベントが中止や延期となっており、一日も早く終息し、日常生活が戻り、子ども会活動が再開できることを願っています。

## 今関雄大

- ① 千葉県市川市
- ② 野球
- ③ No.1
- ④ 子ども会に参加すると同じ地域の年齢の異なる友人ができると思

いますが、そういったつながりはその後の学生生活において重要になると私は考えております。微力ではありますが、皆様が快く参加できるようお力になればと思います。



## 宝神社

# 七夕祭り



市川南地区には宝神社が有りま

す。  
南自治会館に隣接しています。神社行事で七夕祭りが毎年7月に子ども会と共催で行われますが、今年は新型コロナウイルスの関係でお祭りは中止になりました。いつもなら神社境内と自治会館等で縁日をやり、焼きそば・かき氷・射的・ヨーヨー・スーパードール等、子供から大人まで楽しんでいただけるはずでした。しかし少しでも七夕らしくしたく、神社の入り口と境内には笹竹を立て、子どもから大人まで短冊に願いを描いて飾って頂くことにしました。その結果、沢山の人が短冊に願

## 令和2年度 子ども会 育成功労表彰者

地区	子ども会	表彰者
3	新田2・3丁目	児保 玲子
5	新田くるみ	銚崎 雪絵
5	新田くるみ	徳永理津子
5	白幡	松丸 薫
5	白幡	小林 哲郎
5	菅野西	鈴木 慎子
5	菅野西	徳尾まり子
5	東豊三丁目さくら	元井 千秋
8	若潮	徳永 愛
8	若潮	佐々木一美
9	高石神	松浦 ゆか
9	高石神	巻田 尚美
9	中山	井上 藍
9	中山	石井 真弓
10	大和田	安藤 由美

いを描いて笹竹に吊るしてくださいました。  
来年は通常の七夕祭りが行えるよう願っています。

## 訃報

ルネ新行徳の会長で12地区連絡員の千田正子さんがお亡くなりになりました。

## 編集後記

コロナで始まった今年も早立秋。自粛の中で、各子ども会は行事が行なえない苦境にあります。子ども、会員の為に何が出来るか？知恵を出し合い、勇気を出して何か動かなければ…

小さな動きですが、「ふれあい」は次号にクイズコーナーを設けて下さい。詳細は只今検討中。応募して頂き、賞品も出ますのでお楽しみに。

今思う事  
昨年10月、60周年記念事業は子ども達が大喜びし盛会に終了。コロナに追い着かれず、本当に、本当に良かった!!

## 「ふれあい」一〇三号

発行 市川市子ども会育成会  
連絡協議会  
住所 市川市中国分三一二一四  
発行人 亀山 達次  
編集人 増田 貞幸  
川上 みつ子  
大藤 和彦  
遠藤 孝治  
川田 仁美  
及川 秀樹  
赤澤 樹